

2023年度動物愛護教室のご案内

1 はじめに

山梨県ではこれまで、主に小学校低学年を対象に、「動物ふれあい教室」を開催してきました。

この教室は、動物愛護指導センター（以下、「センター」という。）で管理している犬を同伴し、犬とのふれあいや心音聴取を通じて、犬の温かさや鼓動を感じ取ることにより、命あるものを大切にする心を育てること、犬との接し方やその事故防止について学ぶことができるものであり、毎年多くの学校からの要望があり御好評をいただいております。

しかしながら、近年、センターに収容される犬が年々減少し、特に小さな子供とふれあうことができる犬の確保が困難となってきたこと、また当該教室のためだけに犬を長期に渡りセンターに拘束し、同じ犬を繰り返しふれあい教室へ同伴することは動物福祉[※]の面からも適切ではないことから、令和3年度から「動物ふれあい教室」に代わる「動物愛護教室」として開催しております。

※ 動物福祉：動物が精神的、肉体的に十分健康であり、環境とも調和していること。平成25年改正動物愛護管理法において追加された考え方であり、人間は動物ができる限り快適に、苦痛を受けずに生活できるようにする義務と責任がある。

2 動物愛護教室とは

写真や絵等を用いながら、動物の気持ちや小さな命を大切にするために自身に何ができるかを、児童らが自発的に考える内容となっています。

対象学年は、低学年向けの内容に加えて、高学年向けの一步進んだ内容も御用意しています。

動物との触れ合いがなくても、目的は従来の「動物ふれあい教室」と変わりませんが、自発的に考えることにより、これまで以上に動物の気持ち及び命に対する考えを深めることができ、ひいては他人への思いやりの気持ちを育むきっかけになればと考えています。

※ 本教室は、川崎市が平成24年度から行っている「いのちMIRAI教室」を参考に構成しています。



3 プログラムの内容

子供の年齢に応じた、以下のプログラムがあります。

- (1) 低学年向け 動物にも気持ちがある？
- (2) 高学年向け 幸せな動物を増やすためにできることを考えよう

- (1) 低学年向け 動物にも気持ちがある？

ア ねらい

動物の身体的特徴やボディランゲージの基礎を学び、動物に対する親しみの気持ちを育てるとともに、自分と異なる感情表現をする生き物が存在することを知ることによって、多角的な視点を学ぶ。

動物も人間と同じように気持ちがあることを知り、他者を思いやる心を育むきっかけとする。

イ 対象

小学校低学年

ウ 内容

犬猫の身体づくりや感情表現を学び、センターに収容された直後と、収容後しばらく経ってからの動物の写真を比較して、表情の変化から動物の気持ちを推察し、動物にも気持ちがあることを学ぶ。

プログラム例（45分授業の場合）

2分	挨拶、センターの紹介
9分	写真を用いて犬猫の身体の特徴、人との違いについて学ぶ。
9分	収容直後の写真と収容からしばらく経過した後の写真を見て、写っている動物の気持ちを子供が考え、発表する。 動物に何が起こって変化したのかを説明。
10分	イラストマグネットを用いて、動物の気持ちを推察するゲームを行う。
5分	動物の感情の表現方法を踏まえ、事故防止のための犬との正しい接し方を学ぶ。
10分	まとめ、子供による感想の発表

※内容及び時間については御相談ください。

(2) **高学年向け** 幸せな動物を増やすためにできることを考えよう

ア ねらい

動物の致死処分が行われている事実を知り、不幸な動物に対してできることを模索しながら生命を尊重する思いやりの心を育むきっかけとする。

イ 対象

小学校高学年

ウ 内容

- ① センターの業務の説明
- ② 不幸な動物がいる現実を知る（山梨県の犬猫収容数、致死処分数について説明）
- ③ グループディスカッション（不幸な動物を減らすために何ができるのか、班ごとに検討、発表）

プログラム例（45分授業の場合）

5分	挨拶、センターの紹介、仕事内容について
10分	山梨県の犬猫の収容・譲渡・致死処分の状況について
5分	ディスカッションテーマについて説明
10分	グループディスカッション
10分	発表
5分	まとめ

※内容及び時間については御相談ください。



4 教室の実施方法

どちらのプログラムも、センター職員が学校に赴く「出張型」か、子供達がセンターに来所して施設見学も併せて行うことができる「来所型」、Microsoft Teams を用いて行う「オンライン型」を選択できます。

- ・ **出張型**

パワーポイントファイルを映し出すことができる環境（テレビ、スクリーン等）及びマグネットを貼り付けることができる黒板又はホワイトボード等が必要です。なお、パソコン、プロジェクターについては、センターからの持参も可能です。

- ・ **来所型**

講義の他に施設見学も行う場合は、通常よりも多くの時間が必要となります（講義45分、施設見学40分）。

講義の会場が狭いため、感染症対策の都合上、1回あたりの定員が12名（教師1名含む）となります。講義と施設見学を半数ずつの入れ替え制にした場合は、24名（教諭2名含む）まで受け入れ可能です。

- ・ **オンライン型**

ネット環境と Teams を映し出すことができる環境（テレビ、スクリーン、スピーカー、マイク等）が必要となります。

5 申し込み方法及び教室実施の流れ

① 電話申し込み

センターへ電話によりお問い合わせください。

TEL：055-273-5034

- ・ 受付時間は午前8時30分～午後5時15分です
- ・ 土日祝日、年末年始はお休みです
- ・ センターの業務の都合により、実施できない日もあります



② 打ち合わせ

- ・ 担任の先生と、実施日時や内容について打ち合わせを行います
- ・ 打ち合わせは、概ね実施の1ヶ月～2週間前に行います



③ 事前学習

- ・ センターが実施する教室の前に、授業の中で基本的な「命に対しての思いやり」を伝えていただくと、より効果的です



④ 教室当日



⑤ アンケート協力等



⑥ 事後学習等